

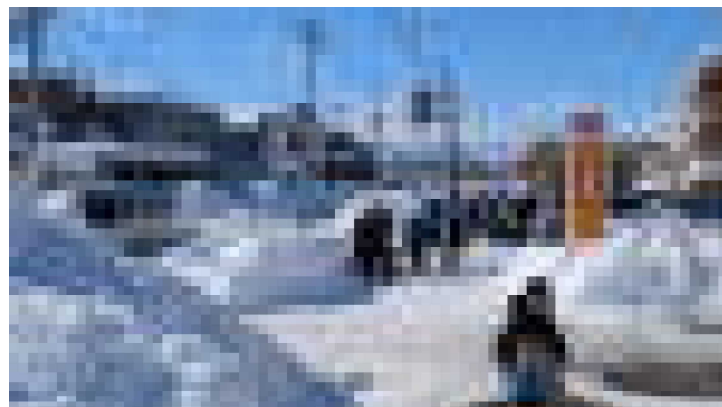
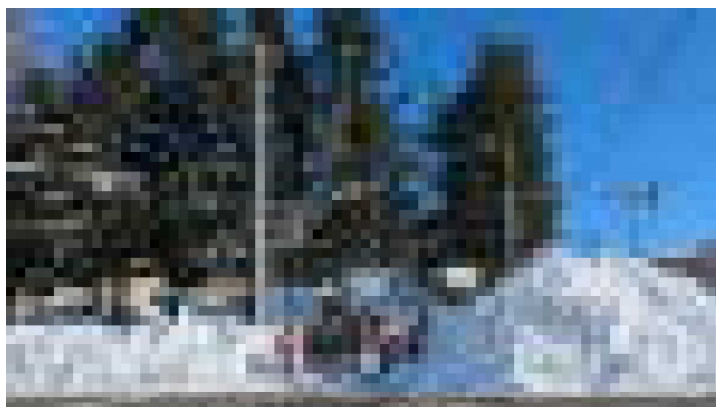
今年の「帯広の冬」

歴史に残る冬になりました。

「1月中旬に積雪ゼロ」は51年ぶり、「24時間で100cmを超える降雪」は55年ぶりですし、国内の過去最高とのことでした。

そのためグラウンドのスケートリンクは造成がかなわず、それな

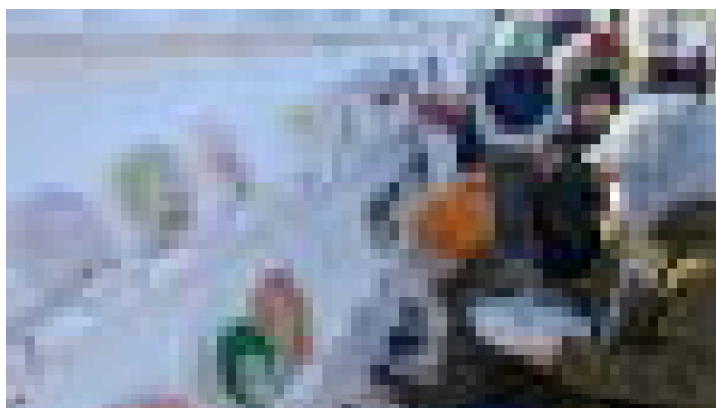
のに積もった雪のために3日間の臨時休校（と午前授業が1回）と、児童や保護者の皆様にも大変ご心配とご迷惑をおかけしました。

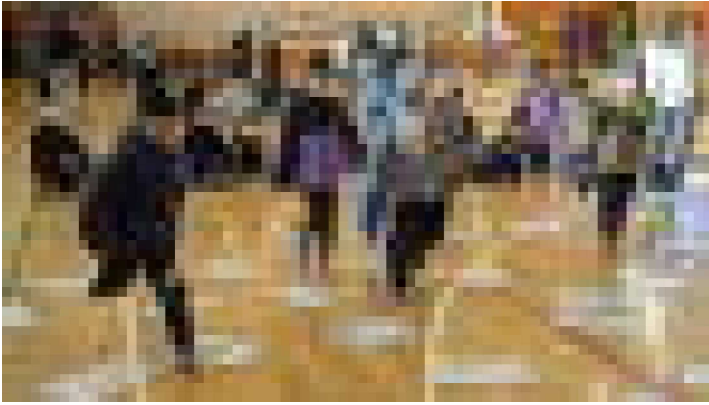


4日ぶりに授業が再開した先週の7日、笑顔で雪の中をたくましく登校してくる児童の姿を見たときに、「ああ、学校っていいなあ」と改めて思いました。

この日は3時間授業だったせいもあり、下校時の児童は登校時よりもっと笑顔でした（……）。

帯広市の小学校2年生が毎年取り組む「氷のお面」は、今年も制作することができ、帯広氷まつりの会場に展示していただきました。ご覧になりましたか。何度も手を加え、個性あふれる作品が完成しました。袋に入れてリュックで背負い、緑ヶ丘公園まで徒歩で（公園に近い緑丘小ならではの風景）運ぶ姿は、「大切なものを運んでいるのである」オーラが漂っていて、とても尊い感じがします。

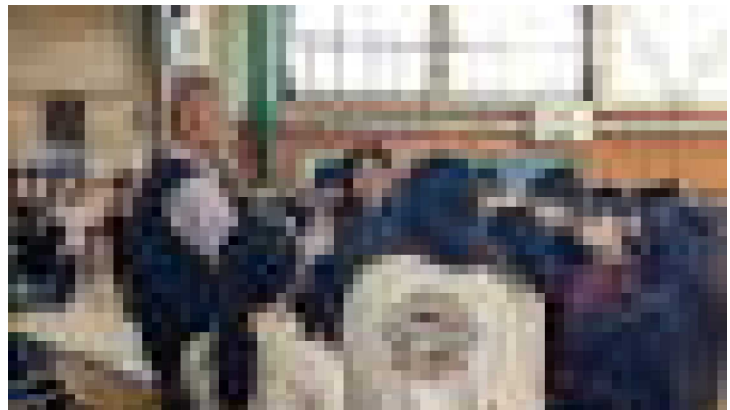




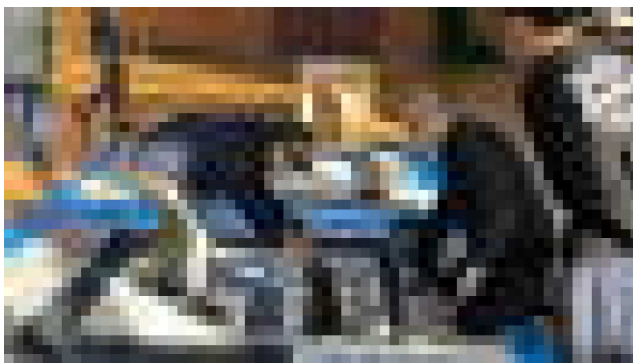
左は、ウィンターフェスティバルの様子です。みどりっこクラブ主催で、老人クラブ連合会、青連協、PTA、五中菜園ボランティア部など多くの方が支援してくださいました。「雪上レク」の予定は変更されましたが、子どもはさすがに楽しみ上手、元気な姿を見せてくれました。

心が通じ合う

今年も帯広ろう者協会から講師（緑丘小学校PTAとOBの方です）をお招きし、5年生手話教室を行いました。お二人の講師のユーモアあふれるお話しで楽しく学ぶことができ、手話同時通訳の方のすごさも実感しました。



代表児童がステージ上で講師と手話で会話した後、講師の先生からは「手話も上手ですし、目を見て表情豊かに会話しているのがとても良いです」「手話通訳者はどんどん少なくなっています。皆さんの中から手話通訳を目指す人が出てくると嬉しいです」などお話しいただきました。



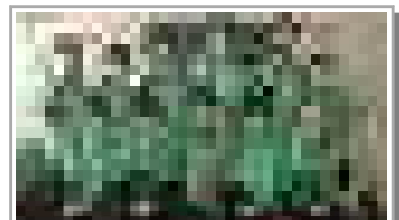
思いを一文字に

今年も6年生が「ジャンボ書道」にチャレンジしました。

講師は□□□□先生。各地で個展を開いたりなど様々な活動をしている、帯広を代表する書家の先生です。

先生から「思い切って、まっすぐ!!」「はみ出すぐらい引いて、力いっぱいね!!」など声をかけていただきながらの制作で、素晴らしい作品ができあがりしました。制作した全員の作品を、卒業証書授与式の会場に掲示します。

気がつけば、今年度もあと6週間となりました。



緑ヶ丘フットボールクラブ

卒業記念カップ2025

U-12

優勝

tayori20250212hp.jtd

よりよい緑丘小学校をつくるためのアンケート

寄せられたコメントをご紹介します。 表現を省略・変更した部分もあります。ご了承ください。

- いつも丁寧な指導をありがとうございます。ランドセルが重すぎるのが気になります。特に金曜日はタブレットも持ち帰る為かなりの重さです。置いておける教科書もあるとは思いますが、更なる改善をお願いしたいです。
- 毎日楽しく登校出来る事に感謝いたします。ランドセルの重さが気になります。道徳や生活は学校保管でもいいのでは、、、と思います。
- 理科や社会など教科書をずっと学校に置きっぱなしなので、テスト前に家庭学習することが出来ないのが気になります。
- お道具箱をなぜ毎期末持ち帰るのか疑問です。授業の中で、足りないものを確認し合い、各自ノートに書いて親に伝えることではダメでしょうか？大きいので、他の荷物もたくさんあり、子供たちには負担だと感じています。

川上より～登下校の際に持ち運ぶ教科書や学習用具については、引き続き日常的に検討していきます。教科書は「教室に置いていても良いもの」という指示ですね。タブレットは、「家庭学習の質の充実や、臨時休業等の非常時における学びの継続の観点から、児童生徒が平常時から1人1台端末を持ち帰り、学校での活用と同様に自宅等での活用を促すこと（北海道教育委員会）」という指導もあり、今後も持ち帰り方と有効活用について考えていきます。学期末の「お道具箱持ち帰り」は、2学期終業式から「持ち帰らなくてもいい」対応としましたが、いかがでしたか。

- ◇最近SNSで話題になった、「下校中の小学生を盗撮して付きまとい、人通りのようすや在籍数などを調べてネットに上げた」という問題について、帯広も不安があります。緑丘小は不審者が出たら情報を流してくれるので大丈夫とは思いますが、有事の際は子供達の安全第一でよろしくお願いします。
- 入学時にもらった集団下校指導用資料のコースと、校区安全マップでは通学路が違いがある。集団下校のコースを通学路と思っている保護者と、「普段の通学路とは違う」と書いてあることから校区安全マップに載っている緑の線が通学路と思っている保護者がいて分からない。しっかりと「この道路が通学路」と文書などで示して欲しい。

川上より～通学路について、複数の文書の整合性がなく申し訳ありません。年度末に向けて整理して、PTAにもご協力いただき新しい「校区安全マップ」で明確にお示しします。少々お時間をください。

●職員玄関を施錠していないことに疑問を感じます。誰でも簡単に学校に侵入できてしまうので正直不安になります。

川上より～リモコンロックに不備があったのを修理したので、それからは施錠できるようになっているのですが、職員玄関から続けて来客がある場合など無施錠の時間があるのも現実です。さらにもう少し改善して、施錠しやすくできるよう改造依頼中です。

●学校内で流行っている、もしくは流行りそうな感染症はクラスだけではなく学校内全体に共有していただきたいです。病院に行って初めて「緑小で流行ってるよ」と、知ることがよくあります。

川上より～悩ましいのは、教師の発言によって特定の児童の欠席理由や病名がわかるようではいけないこと、何人罹患した段階で「流行している」と判断するのか規準を何人とするべきかなど難しいことなどです。現在のところ本校では、どこかの学年で学級閉鎖があった場合は、その学年だけでなく全校の保護者にお知らせすることにしていきます（帯広市のホームページでは他校の学級閉鎖等情報もわかります）ので、ご容赦ください。まだまだインフルエンザの流行も聞かれます。引き続き日常的な感染対策をお願いします（インフルエンザによる学級等閉鎖は、「罹患による欠席が在籍の20%以上」を一つの目安とし、学校医と相談しながら校長が定めます）。

◇教材費等の支払いを引き落としやコンビニ支払いにできないものか、帯広市に望みます。先生たち、保護者共に負担軽減になると感じます。ご検討をお願いいたします。

川上より～現状の「児童が現金を持参する」ことには金銭事故の心配もあり、担任の事務作業もけっこうなものです。一方で、給食費のように引き落としをするとすると、保護者の口座残高管理が今までよりもさらに必要になる他、学校でも新たな事務作業が生まれてしまい（給食費の場合は市の収納事務員が担当しています）、そのため市内の他校ではPTA予算等を手当としながら新たに業務を依頼しているところもあるように聞いています。ご指摘のような形が良いとは思っていますので、担当者がうまく配置できれば良いのですが。本校としても検討させてください。

もう少し、次号に続きます。